

2022 年度事業報告書

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

一般社団法人 回復支援の会

1. 事業の成果

木津川ダルクでの依存者回復支援を行う。当年度新規入所者は 13 名、退所者は 13 名、現在入所者 8 名（2023 年 6 月時点）、うち 5 名が就労となる。コロナ禍の影響も落ち着きだし利用者も増えることになったが退所者も多かった。通所利用については、通所利用が 2 名いたが共に就職。

提供プログラムにおいては、グループミーティングやワークブックを使ったグループワークを 1 日 2 回行った。ヨガ療法プログラムを約 10 回、地域清掃を週 1 回、スポーツ、ハイキングや散策・花見、食事会等レクレーション年間 10 回程度、家族教室を年間 12 回開催する。

対外的活動として、講演活動は年間 26 回。大阪保護観察所等プログラム年間 12 回。病院メッセージ年間 24 回（Zoom）。勉強会・研究会参加年間 23 回（Zoom 含む）。研修会、学会、フォーラム等参加年間 14 回（Zoom 含む）。

2022 年 7 月に開設した阪神ダルクのサポート。

昨年度に引き続き、「寄り添い型相談支援事業（全国支援事業）」及び「被災者見守り・相談支援事業」（厚生労働省補助事業）の事業実施者（一社）社会的包摂サポートセンターより近畿ブロック地域センターとして受託し、「よりそいホットライン」（電話相談）事業を実施する事となり事業規模は約 3,989 万円となっている。

今年度申請した休眠預金助成金事業が採択され 3,586 万円の助成金を受ける。この助成金にて、日中の支援施設を整備することができた。ただ、事業所として使う一軒家を、政策金融公庫から 3,000 万円の借入れを行い購入した。

2023 年 3 月に、日中の支援施設を障害者総合支援法における障害福祉サービス事業の自立訓練（生活訓練）として許認可を受ける。定員を 20 名とした。この事業開始において回復者 3 名を常勤雇用した。